

HV-316 クイックマニュアル

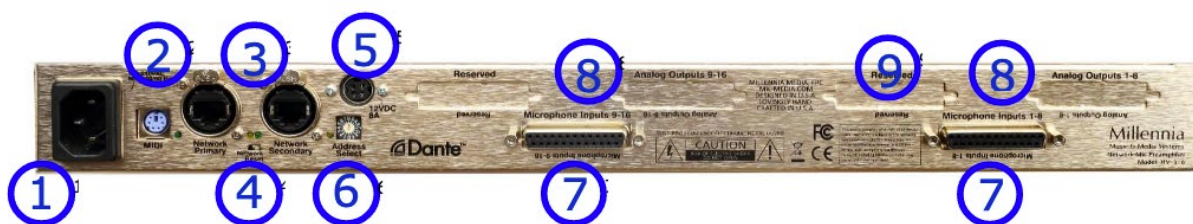
HV-316 を操作するには、「Ælogic」ソフトウェアが必要です。

Millennia ホームページ HV-316 の製品ページ、Downloads の項目から「Ælogic」最新版をダウンロードしてください。
対応 PC は、Windows10 以降、Mac 版はベータ版となります。(2025/5/22 時点)

<https://www.mil-media.com/product/hv-316/>



1. Unit ID ディスプレイ : ユニットの ID を表示します。
2. パワーインジケータ: 小さい点はユニットに電源が入っている事を示します。
電源投入後、ユニットの ID が表示されるまで約 20 秒かかります。
3. インプットレベル & ファンタムパワーインジケータ:
緑 > レベル-46dBFS 以上 赤 > レベル 0dBFS、こはく色 > ファンタム電源
4. Aux Pwr on : 12V の補助電源が ON の場合店頭
5. 電源スイッチ



1. AC パワー : 80-264 VAC 47-63Hz
2. MIDI プロトコルを使用して HV-316 のリモートコントロールを可能にします。ヤマハブレイクアウトケーブル「ZP893500」を使用します。
3. イーサネット: Dante ネットワークと Ælogic のコントロールに使用します。

Ælogic は Network Primary connector でのみ接続可能です。Primary ポートは Ælogic コントロール用のアドレスと、Dante 用のアドレスを 2 つ持ちます。Ælogic コントロール用のアドレスは、以下の固定をお勧めします。

4. ネットワークリセット: デフォルトのネットワークセッティングに戻します。

>>Static IP address 192.168.1.221, Netmask 255.255.255.0

HV-316 の電源を切り、小さい金属の棒などで、リセットスイッチを押しながら電源を入れます。リセットのプロセスがスタートすると、ディスプレイに「00」のユニット ID が表示されます。その後リセットスイッチを離してください。ユニットが再スタートし、ユニット ID が表示されると Static IP アドレス 192.168.1.221, Netmask 255.255.255.0 に戻ります。

5. 12V 冗長パワー: Millennia が承認しているバックアップ電源のみ接続します。
6. ユニットの ID をセットします。: Address の欄で選択した数字が Unit ID となります。

7. マイクインプット : AES59/Tascam フォーマット
8. アナログアウト: AES59/Tascam フォーマット (オプション)
9. 将来的なオプション

Address	1	2	3	4	5	6	7	8
Unit ID	1	2	3	4	5	6	7	8
Address	9	A	B	C	D	E	F	0
Unit ID	9	10	11	12	13	14	15	16

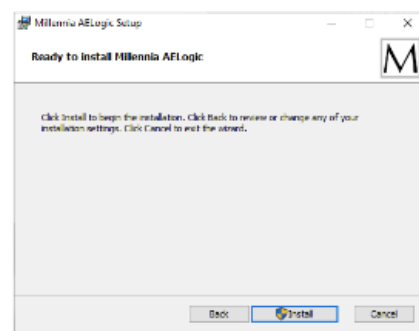
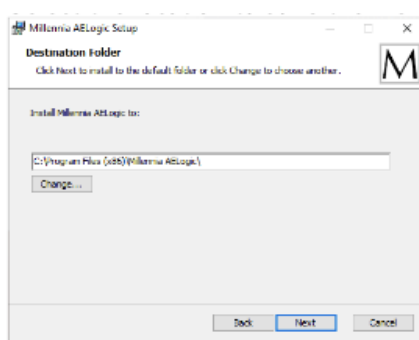
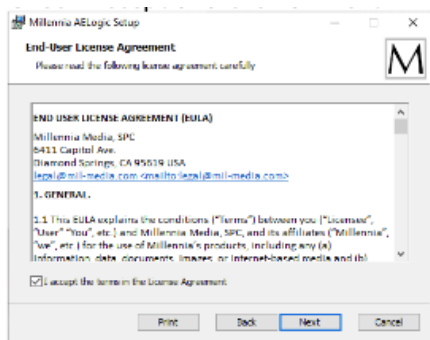
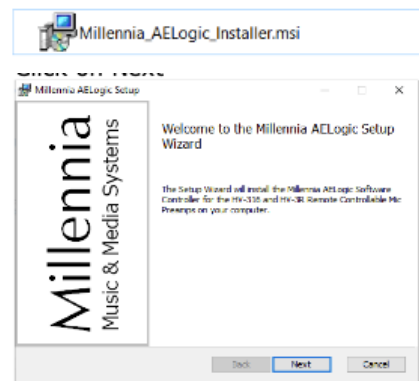
Ælogic software ダウンロード

Win10 のみ、その他のバージョンは動作する可能性があります
サポートされていません MAC (Rosetta2 が必要)/

* 管理者権限などでソフトをインストールし、ネットワークへのアクセスを許可してください。
Wifi は OFF にして HV-316 と PC を直接接続してください。

Zip ファイルを解凍し開きます。

Next と Agreement にチェックを入れ Next、保存場所を選び、Install をクリックしてください。
インストールを終えてください。



この後、ネットワークへのアクセスの許可を求められるので、許可します。

IP アドレスの設定

HV-316 は独自の Unit ID と IP アドレスを設定する必要があります。

右記が推奨アドレスです。コンピューターのアドレスを 192.168.1.200 に設定。
HV-316 のイーサネットポートに直接接続し、Ælogic ソフトウェアを起動します。

IP Address	Unit ID
192.168.1.200	Host Computer
192.168.1.221	HV-316 ID 01
192.168.1.222	HV-316 ID 02
192.168.1.223	HV-316 ID 03
192.168.1.2nn	HV-316 ID nn

もし、正しい設定が行われていたら、Ælogic を開くと HV-316 の Unit ID のアイコンが緑色になります。

ダブルクリックすると IP アドレスが確認できます。OK をクリックしてください。

DHCP もサポートしていますが、それ相応の設備がなければお勧めいたしません。
イーサネットと MIDI のコントロールは同時に使用できません。



(M1 チップ搭載の Mac 版をご利用の際の注意事項)

Ælogic を Mac にインストールするには、Ælogic アプリケーションを「アプリケーション」フォルダに移動してください。

Ælogic を初めてダウンロードした際、macOS によって隔離(クアランティン)されます。

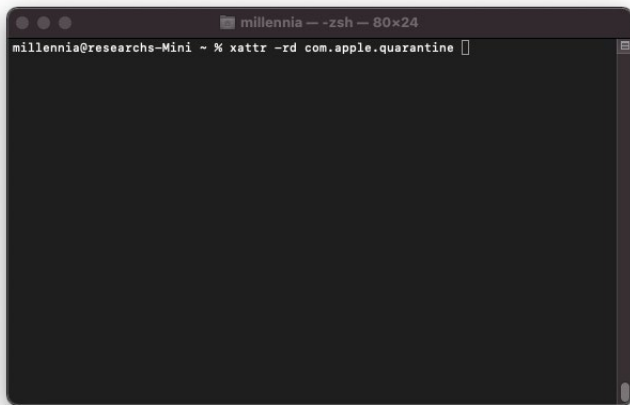
この隔離フラグによる制限を解除するには、下記の手順に従いターミナルを使用する必要があります。

* 必要な操作は 1 つのコマンドだけです。

「ターミナル」アプリケーションを起動します(/Applications/Utilities フォルダにあります)。

ターミナルに以下のように入力します(末尾のスペースに注意)：

```
xattr -rd com.apple.quarantine
```



続いて、Ælogic.app アプリケーションをターミナルにドラッグ&ドロップすると、アプリケーションの場所(パス)がターミナルに表示されます。



最後に「Enter」キーを押してコマンドを実行します。

実行中にいくつか「ファイルが存在しません」というエラーが表示されることがありますが、問題ありません。

コマンドの実行後、Ælogic を起動できるようになります。

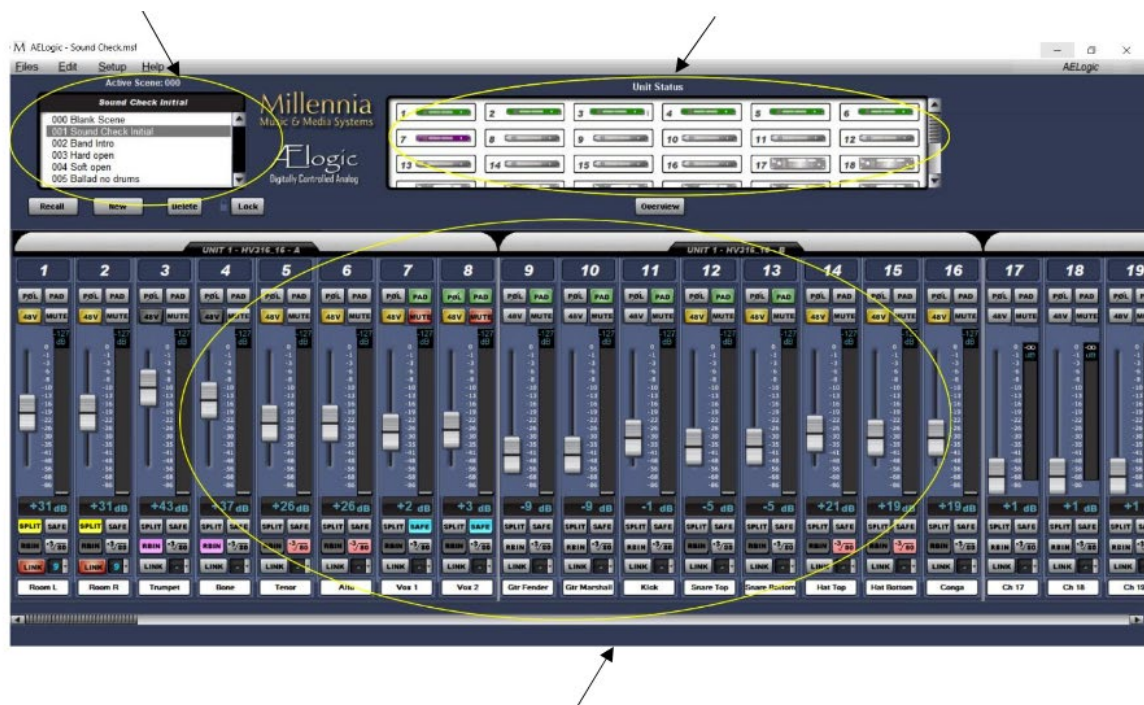
このアプリケーションは、Apple Silicon デバイスで動作させるために Rosetta 2 を必要とします。Apple Silicon をご使用で Rosetta 2 がインストールされていない場合、アプリケーション起動時にインストールが促され、自動的にインストールされます。

*このアプリケーションを使用することにより、EULA.rtf ファイルに記載されたエンドユーザーライセンス契約(EULA)の内容に同意したものとみなされます。

*このソフトウェアに含まれるライブラリに関する追加のライセンス情報は、LICENSES.txt ファイルに記載されています。

スクリーンウィンドウ

ユニットステータ スウィンドウ



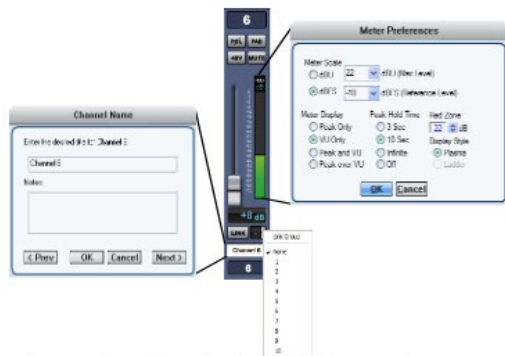
コントロールセクション

ユニットステータスウィンドウで接続している HV-316 の状態を確認できます。

緑のアイコンが正常、赤のアイコンはユニット ID が競合している、紫はオフライン(以前は接続)となります。青のアイコンは、主電源の AC ラインに障害発生、灰色はユニットはネットワークに接続されていない状態です。アイコンをダブルクリックすると、ユニットのステータスを確認できます。

ユニットステータスに表示されるアイコンを左クリックすると、メイン画面を表示できます。

コントロールセクションで、ファンタム電源 ON/OFF、フェーズ、ミュート、PAD、レベルなどを調整します。
(詳しくは、HV-316 の英文マニュアルをご参照ください。)



Unit1 はチャンネル 1-16、Unit2 はチャンネル 17-32 が割り当てられます。右クリックすると名前をつけることが可能です。

POL : 位相を反転します。

PAD : 20dB 減衰させます。

+48V : 48V ファンタム電源を供給します(RBNが無効の場合)
(注意)ファンタム電源を入れたまま ON/OFF をしないでください。

MUTE : チャンネルをミュートします。

フェーダー : 実際のゲイン設定を dB で表示します。(1-64dB)

Meter Preferences ダイアログ: メーターの表示をカスタマイズできます。

SPLIT : 将来的なアップデートで対応(2つの Dante アウトを提供予定)

SAFE：新しいシーンをロードしても、チャンネルは変更されません。

RBN：48v ファンタム電源を切り、ゲインステージの DC カップリングを ON にします。
* 48V 電源は必ず OFF にしてください。リボンマイクやダイナミックマイクに有効です。

HPF：ハイパスフィルター 80Hz: -3dB

LINK：Gain MUTE パラメータのみに適用されその他は適用されません。
ドロップダウンリストから選択できる 10 個のリンクグループを設定し調整します。

スクリーンウィンドウ

Active Scene :...

現在、有効なシーン番号が表示されます。

000 Blank Scene

デフォルトのシーンです。上書きできません。

プロジェクトを作成

プロジェクトを保存する前に、プロジェクト自体を作成します。File > Save to name で保存してください。File > Save で変更を保存できます。

シーンを作成

New > 新規で作成、シーン名を入れてください。このシーン作成は現在の設定を保存するものではありません。新しいシーンを作るものです。

シーンのリコール

シーンを選び、Recall ボタンを押す。

シーン名をダブルクリックする

保存したいシーンをリコールで呼び出します。

そこでフェーダーなどを動かし調整、その状態を

File > Save で変更を保存することで新しいシーンに現在の設定情報が保存されます。

1. New でシーン(A)を作成
2. そのシーン(A)をリコールし、「Active Scene」として表示(呼び出す)
3. フェーダーをコントロール
4. File > Save でシーン(A)を保存

Setup Menu

Diagnostic: IP アドレス、ユニットの確認、システムの状態が分かります。

Soft Reset：ユニットを選択し、全てのボタン OFF、最小ゲインにリセットできます。

(Tips)

* HV-316 のコントロール用 IP と Dante のデフォルトの IP は違います。

コントロールアプリケーションにより接続の IP 変更をお願いします。

Ælogic から IP を設定し直すことはできませんので、もしうまくいかない場合は、192.168.1.200 を設定した PC と Dante デフォルト設定用の PC 2 台をハブに接続して使用方法もあります。

